

「自尊感情の向上と望ましい人間関係の形成」に重点を置いた年間指導計画

		1学期				2学期					3学期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な行事		始業式 入学式	生徒総会 体育祭	命の教育月間 定期考査Ⅰ	道徳地区公開講座 上級学校訪問③ 校外学習② 終業式 ふれあいウイーク	始業式	校外学習① 修学旅行③	定期考査Ⅱ 生徒総会 合唱祭	定期考査Ⅲ	ふれあいウイーク スマイル広場 終業式	始業式 推薦入試③ 弁論発表会	一般入試③ 定期考査Ⅳ	総合学習発表会 三年生を送る会 卒業式
道徳 総合的な学習の時間 特別活動 行事	1年	委員会活動・係活動を通じて他者への貢献の気持ちを持つ。	副読本などを使い、「他者理解」、認知の仕方の違いや価値観の違いに気付く。	下町校外学習にむけて東京・江戸について班で協力し調べる。	前期の反省をいかして、より全体のことを考え行動する。	合唱祭を機会として、個性を尊重し、協力しあう態度を育てる。	副読本などを使い、相手のことを考え、尊重する心を学ぶ。また、コミュニケーションスキルの獲得をはかる。	下町校外学習の班行動で、協力しあい、周囲への気遣いの姿勢を学ぶ。	弁論の発表会を通し、広く他人の考え方に触れ、他者の考えを受け止め、互いに認め合う。	副読本などを使い、お互いの個性を認め合う、尊重することを学ぶ。	3年生を送る会や卒業式を機会として、感謝の気持ちを持ち、上級生になることへの自覚をもつ。	一年間を振り返り、周囲のことを考え、行動できる気持ちをもてたか確認し、自分を認める。	
	2年	学級組織作りで、自己を分析し、新たな人間関係を築く。	「感謝する心」が自分の心も豊かにしていくことを学ぶ。	校外学習のコース作りや班活動を通して、協力し学び合う力をつける。	後期の学級組織作りで、前期を反省し、自己を追求する。	合唱祭を機会として、個性を尊重し、協力しあう態度を育てる。	職場体験において、社会人としての関わり方を学ぶ。	「あたたかい人間愛」「思いやる心」を主題として、よりよい人間関係を考える。	弁論の発表会を通し、互いの意見や考え方を認め合う心を育てる。	「家族への敬愛」「他を思いやる心」を主題とし、よりよい人間関係を学ぶ。	3年生を送る会や卒業式を通して、上級生に感謝の気持ちを表す機会とする。また、最上級生としての意識をもつ機会とする。	互いのよさを認め合うメッセージカードを贈り合い、他者を認める心を育てる。	
	3年	学級組織作りで、自己と集団を分析し、よりよい人間関係を考える。	副読本などを使い、「よりよい自己の追求」「友情・信頼」「感謝の心」を学ぶ。	修学旅行のコース作りを通して、学び合う力をつける。	後期の学級組織作りで、前期を反省し、自己を追求する。	合唱祭を機会として、個性を尊重し、協力しあう態度を育てる。	自己PRカードの作製するにあたり、自分の良いところを知る。	副読本などを使い、「礼儀」「思いやり的心」「正しい異性理解」を学ぶ。	修学旅行の班行動で、協力し課題を解決することを実践する。	弁論の発表会を通し、広く他人の考え方に触れ、自らの考えに昇華させる。	副読本などを使い、「謙虚な心」「心のふれあい」を学ぶ。	進路決定に際し、互いに思いやり、認め合い、支え合う気持ちを持たせる。	卒業式を機会として、3年間を振り返り、自分や他人を認める。
その他 (通年の取り組み)	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・日直活動において、各自の責任と意識させ、しっかりとやり遂げることの大切さを感じさせる。 ・部活動報告を生徒集会で行うことで、さまざまな活躍を認め合う。 ・委員会報告を生徒集会で行うことで、委員長の自覚を常に持たせ、委員会の必要性和責任を感じさせる。 ・年間2回のふれあいウイークを通じて、一人一人の活躍や頑張りを学校や家庭とともに確認し、更なる向上を目指す。 ・お茶の水大学の『心の教育』を通じて、コミュニケーションスキルの向上に努める。(1年) 					<p><特別支援学級との主な交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・儀式的行事(入学式・卒業式等)への参加 ・全校集会や学年集会への参加 ・体育祭での取り組み(よさこいソーラン・紅白種目等への参加・練習) ・合唱祭での取り組み(伴奏者の募集・1学年のリハ参加・当日の発表) ・交流給食 ・一部の委員会や部活動への参加 						

道徳

総合

特活

行事

←→ 縦割り活動を含む

----> テーマを発展